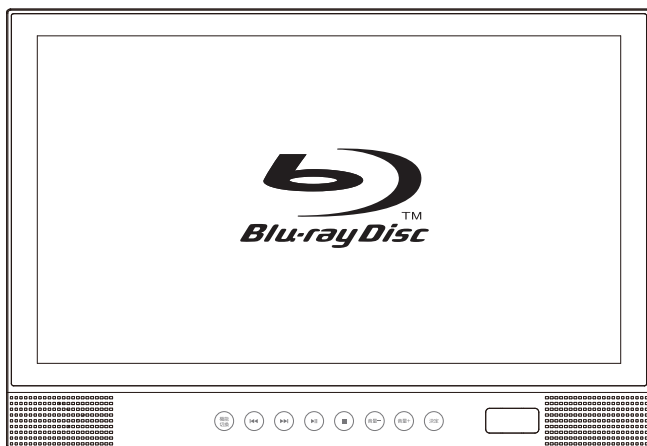


取扱説明書 -保証書添付-

型番：TK14BD

14インチ ポータブル ブルーレイ™プレーヤー



-この度は弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます-

- ご使用前に必ずこちらの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。

特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。

- お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等、必要事項の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

- 本製品は一般家庭用です。業務用途などに使用しないでください。

⚠ 本製品は日本国内専用品であり、日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

目次

| | |
|---------------------|----|
| ■はじめに | |
| 設置の手順 | 1 |
| 付属品の確認 | 2 |
| ■安全上のご注意 | |
| 安全に正しくご使用いただくために | 3 |
| ■使用上のお願い | |
| 未永くお使いいただくために | 12 |
| ■ディスクについて | |
| 使用できるディスク | 15 |
| ディスクに表示されているマークについて | 17 |
| リージョンコード(地域番号) | 18 |
| 著作権について | 18 |
| ディスクの内容区分 | 19 |
| ■各部の機能 | |
| 各部機能 | 20 |
| ■準備 | |
| 電源の接続/電源の操作 | 24 |
| リモコンの準備/リモコンの操作 | 25 |
| メモリーカードの対応 | 26 |
| SDスロットの使用 | 26 |
| USBポートの使用 | 27 |
| ディスクトレイカバーを開く | 27 |
| かんたん設定 | 29 |
| 機能の切り換え | 29 |
| ■再生(基本編) | |
| ディスクの再生(基本操作) | 30 |
| ■再生(応用編) | |
| ディスクの再生(応用操作) | 32 |
| ■再生(便利な再生機能編) | |
| ディスクの再生(便利な操作) | 34 |
| ■メディアセンター | |
| メディアセンターの使用 | 39 |
| ■本体設定 | |
| 設定メニュー | 44 |
| ■外部端子接続 | |
| テレビに出力する | 48 |
| 外部機器から入力する | 49 |
| イヤホンを使用する | 49 |
| CDを録音する | 50 |
| ■トラブルシューティング | |
| 故障かな?と思ったら | 52 |
| ■その他 | |
| 仕様 | 54 |
| アフターサービス/免責事項 | 59 |
| 保証条件の内容 | 60 |
| 保証書/お問合せ先 | 61 |

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。

(2 ページ)



本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「ディスクについて」、「各部の機能」をよく読みます。

(3 ~ 23 ページ)



準備を行います。

(24 ~ 29 ページ)



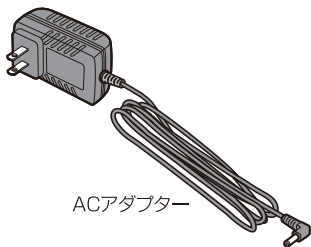
本製品の電源をオンにします。

(24 ページ)

はじめに

付属品の確認

パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。



ACアダプター



DCアダプター



イヤホン



リモコン



取扱説明書

取扱説明書兼保証書
(本書)



リモコン用
単四乾電池*

*付属のリモコン用電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。ご了承ください。


安全上のご注意


安全に正しくご使用いただくために


製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)



警告

異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たらすぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプターをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜くかシガーソケットアダプターをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプターをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプターをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜くかシガーソケットアダプターをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

危険 使用について



禁止

ACアダプターは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

バッテリーを内蔵しているため、燃やしたり、熱器具や電気調理機器などで加熱したりしないでください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

落下や衝撃により破損したら、ご使用にならないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社カスタマーセンターへご連絡ください。

警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

ACアダプターは、100ボルト交流電源(AC100V)のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



DC12V以外
使用禁止

シガーソケットアダプターは、自動車(マイナスアース車に限る)用12ボルト直流電源(DC12V)のシガーソケットにしっかり差し込んでご使用ください。
自動車用12ボルト直流電源以外でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



エンジン始動後
に接続

シガーソケットアダプターは、エンジン始動後に接続してください。
エンジン始動時瞬間的に発生する可能性のある高電圧や大電流(サージ電流)により、故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定期的に
プラグを掃除

電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。
定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源プラグのお手入れは、ACアダプターをコンセントから取り外して行ってください。
電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



警告 電源について



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

ACアダプターやシガーソケットアダプターのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店または弊社カスタマーセンターに交換をご依頼ください。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源プラグに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントをご使用にならないでください。
コンセントに電源プラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。
破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コード引っ張り
禁止

電源プラグをコンセントに抜き差しする場合、電源プラグを持ってください。
コードを引っばると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、
火災や感電の危険があります。



警告 設置について



不安定な場所
に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、
高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



水滴れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水滴れによる故障の原因となり、
火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、
火災や感電の危険があります。



禁止

通気口をふさがないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。
ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所に取り付けしないでください。
また、運転装置に触れる場所に取り付けしないでください。
事故の危険があります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所や、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けしないで
ください。
感電やケガの危険があります。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱わないでください。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

破損や変形、補修したディスクはご使用にならないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。



禁止

業務用途としてはご使用にならないでください。
過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
また、運転中は製品を使用しないでください。事故の危険があります。



禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。



警告 使用について



禁止

運転中はご使用にならないでください。
事故の危険があります。また、運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所、運転装置に触れる場所、エアバッグの動作を妨げる場所に置かないでください。



注意

航空機内でのご使用は、航空会社の指示に従ってください。
事故の危険があります。



警告 電池について



指定外の電池
使用禁止

指定の電池をご使用ください。

指定外の電池、種類の違う電池や未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。
また、プラス(+)、マイナス(-)の極性に注意してください。



電池を
取り外して

長時間ご使用になられないときは、電池を取り外してください。

使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、分解したり、水や火の中に入れてください。

破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

飲み込むと、障害や中毒の原因となります。

万一飲み込んだとき、または飲み込んだ恐れがあるときは、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、清潔な水で洗い流してください。

電池の液が目に入った場合は、すぐに多量の清潔な水で洗い流し、医師の診察を受けてください。失明の危険があります。

注意 使用について



コンセントから
プラグを抜く

長期間ご使用になられないときは、電源プラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で
使用する

適度な音量でご使用ください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



適度な音量で
使用する

イヤホンは、適度な音量でご使用ください。
耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。
また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。



ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。



禁止

メモリーカードを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
飲み込むと、窒息や障害の原因となります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、ディスクやメモリーカードを取り出し、電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- 電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから取り外さないでください。
- 視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- 疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- 映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- 大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
- 本製品は、24時間以上の連続使用を想定した設計を行っておりません。
- 本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：| LCD、| Blu-ray Discドライブ、| ACアダプター、| ディスプレイ開閉部(ヒンジ))

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプターをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ピックアップレンズにチリやホコリが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となりますので、その場合、市販のレンズクリーナーを使用してください。

製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから取り外してください。

結露（つゆつき）について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
- ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
- 保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
- 信号面（光っている面）には手を触れないでください。
- ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
- ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
- 印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
- 正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。

メモリーカードの取り扱いについて

- メモリーカードに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なメモリーカードであっても、再生できない場合があります。
- 保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- 端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

- 対応する再生可能なフォーマットであっても、再生できない場合があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

自動車内での使用について

- リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
- 運転中の運転者は製品を使用しないでください。
- 運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、運転装置に触れる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、エアバッグの動作を妨げる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、アクティブヘッドレストの動作を妨げる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けしないでください。
- 取り付け具が緩んだ場合、直ちに増し締めを行ってください。
- ひっぱったり、ぶらさがったり、強い力を加えないでください。
- バケットシートなどのヘッドレスト一体型シートに取り付けることはできません。
- ヘッドレストやシートに取り付け跡が残る場合があります。
- 使用後は、製品や付属品を取り外し、車内から持ち出してください。
- 車検時、検査官の判断により、取り付けたままでは合格しない場合がありますので、事前に取り外してください。
- 目的外の使用はしないでください。
- 目的外の使用や誤使用、改造などにより事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

免責事項

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、ジャケットに記載されています。

| ディスク | マーク | 内容 |
|---------------------------------------|---|---|
| BD ディスク BD-ROM |  | ・12cm ・リージョンコードが A や ABC ・映像方式：NTSC |
| BD-R / BD-RE BD-R DL / BD-RE DL |  | ・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。 |
| DVD ディスク DVD-ROM |  | ・12cm / 8cm ・リージョンコードが 2 や ALL ・映像方式：NTSC |
| DVD-R/RW DVD-R DL |   | ・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。 |
| DVD+R/RW DVD+R DL |   | ・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。 |
| CD CD-ROM |  | ・12cm / 8cm ※DTS-CD は再生できません。 |
| CD-R CD-RW |   | ・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。 |

●ディスクにマークがあっても、データの作成方法やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

- 本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 市販されているディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

- リージョン番号が「A」か「ABC」以外のブルーレイディスク
- リージョン番号が「2」か「ALL」以外のDVDビデオディスク
- DVD オーディオ、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のディスク
- フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど

記録形ディスクの再生について

- 本製品が対応している記録形ディスクであっても、データの記録状態によって再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。



著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

- 著作権保護機能「CPRM(Content Protection for Recordable Media)」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について








- 複製制限機能 (コピーコントロール機能) のついたオーディオCDの中には、正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

- この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVDビデオディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に  と表示されることがあります。 と表示されたときは、本製品がディスクがその操作に対応していません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

| マーク例 | 内容 |
|--|---|
|  | 記録されている音声の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声 that 収録されています) |
|  | 記録されている字幕の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています) |
|  | 記録されている角度 (マルチアングル) の数を示します。 (左の例は、3種類の角度で収録されています) |
|  | 横：縦 = 4 : 3 の標準サイズで記録されていることを示します。 |
|  | レターボックス (横：縦 = 4 : 3 で上下に黒帯が入っている画面) で記録されていることを示します。 |
|  | 横：縦 = 16 : 9 のワイドサイズで記録されており、標準サイズ (4 : 3) のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。 |
|  | 横：縦 = 16 : 9 のワイドサイズで記録されており、標準サイズ (4 : 3) のテレビの場合はパン&スキャン (両側または片側が切れた画面) で再生されるように指定されることを示します。 |

リージョンコード(地域番号)

リージョンコードについて

- ブルーレイディスクと DVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョンコード）が設定されています。ご使用になるディスクに表示されている地域番号（リージョンコード）と一致しないと再生できません。

本製品で再生できるディスクは以下の通りになります。

※地域番号が同じでも日本向け以外のディスクでは正常に再生できない場合があります。

ブルーレイディスク : 地域番号（リージョンコード）は“A”です



DVD ビデオディスク : 地域番号（リージョンコード）は“2”です



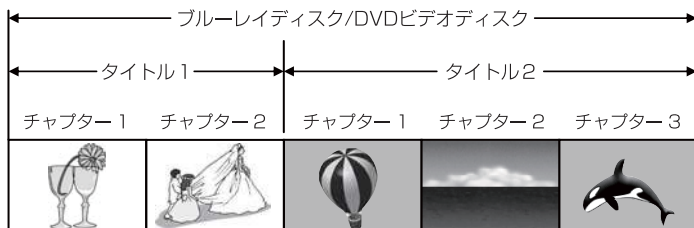
著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。
- 本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっていきます。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容区分

タイトル、チャプター、トラック

ブルーレイディスクと DVD ビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



オーディオ CD は、「トラック」で区切られています。



タイトル : ブルーレイディスクと DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック : オーディオ CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

各部の機能

本体とリモコンの各部機能を紹介します。

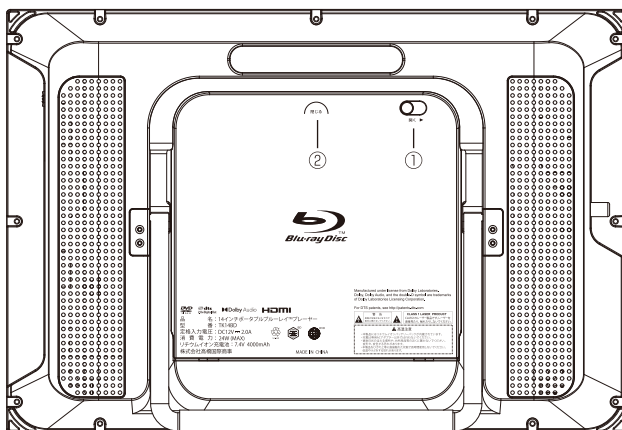
前面図



| | | |
|---|--|--------------------------|
| ① | | 機能を切り換えます |
| ② | | 前のチャプターへ移動します |
| ③ | | 次のチャプターへ移動します |
| ④ | | ディスクやファイルを再生/ 一時停止します |

| | | |
|---|--|------------------------|
| ⑤ | | ディスクやファイルの再生を 停止します |
| ⑥ | | 音量を下げます |
| ⑦ | | 音量を上げます |
| ⑧ | | 項目の決定をします |

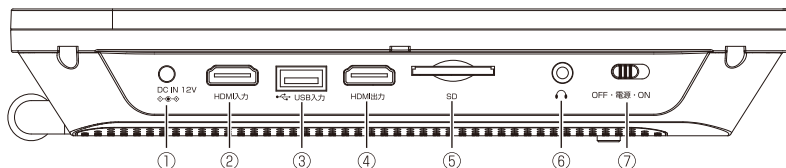
背面図











| | | |
|---|--|---------------------|
| ① | | ディスクトレイカバーを開き ます |
|---|--|---------------------|

| | | |
|---|--|------------------------|
| ② | | ディスクやファイルの再生を 停止します |
|---|--|------------------------|

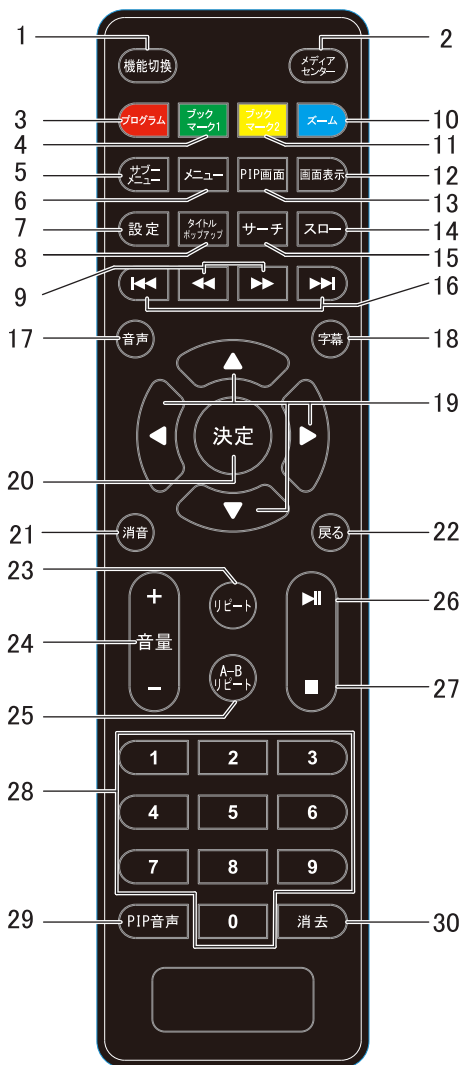
右側面部



| | | |
|---|--|---------------------------|
| ① |  DC IN 12V ◆◆◆◆ | 専用ACアダプタや専用ソケットアダプタを接続します |
| ② |  HDMI入力 | 映像入力時にHDMIケーブルを接続します |
| ③ |  USB入力 | USBメモリーを挿入します |
| ④ |  HDMI出力 | 映像出力時にHDMIケーブルを接続します |

| | | |
|---|--|------------------|
| ⑤ |  SD | SDメモリーカードを挿入します |
| ⑥ |   | イヤホンやヘッドホンを接続します |
| ⑦ |  OFF・電源・ON | 主電源のオン/オフを切り替えます |

リモコン



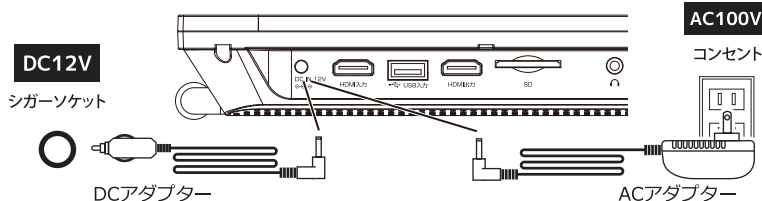
| | |
|--------------|------------------------------|
| 1 機能切換 | ディスク再生、外部入力、の各機能を切り換えます。 |
| 2 メディアセンター | メディアセンター画面を表示します。 |
| 3 プログラム | プログラム再生を行います。 |
| 4 ブックマーク1 | ブックマークを設定します。 |
| 5 サブメニュー | サブメニューが表示されます。 |
| 6 メニュー | ディスクのメニュー画面を表示します。 |
| 7 設定 | 設定画面を表示します。 |
| 8 タイトルポップアップ | 収録されているポップアップメニューを表示します。 |
| 9 早戻し/早送り | 早戻し / 早送り を行います。 |
| 10 ズーム | 映像や画像の拡大、縮小表示を行います。 |
| 11 ブックマーク2 | 設定したブックマークを表示します。 |
| 12 画面表示 | 再生中の情報を表示します。 |
| 13 PIP画面 | ピクチャーインピクチャー表示を行います。 |
| 14 スロー | スロー再生を行います。 |
| 15 サーチ | タイトル/チャプター/再生時間などを指定して再生します。 |
| 16 スキップ | 前や次のチャプター/トラック/ファイルなどに移動します。 |
| 17 音声 | 音声を切り換えます。 |
| 18 字幕 | 字幕を切り換えます。 |
| 19 方向操作 | 上下左右で項目を選択します。 |
| 20 決定 | 選択した項目を決定します。 |
| 21 消音 | 音声の「オン」「オフ」を行います。 |
| 22 戻る | 前の画面に戻ります。 |
| 23 リピート | リピート再生をします。 |
| 24 音量+ - | 音量を調整します。 |
| 25 A-Bリピート | 区間を指定したリピート再生を行います。 |
| 26 再生/一時停止 | 再生を開始します。再生中に押すと一時停止します。 |
| 27 停止 | 再生を停止します。 |
| 28 数字キー | 数字を入力します。 |
| 29 PIP音声 | PIP音声に切り換えます。 |
| 30 消去 | 入力した項目を消去します。 |

●上記は一例です。ディスクや実行中のメニューによって動作は異なります。


準備


電源の接続

右側面の電源端子に付属のACアダプターやDCアダプターを接続します。

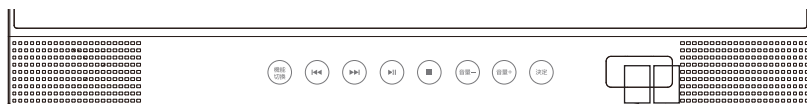


電源の操作

OFF  ON 本体右側面の電源スイッチを「ON」側にスライドすると、電源が入ります。

OFF  ON 「OFF」側にスライドすると、電源が切れます。

- 本体右側面の電源スイッチを「ON」側にスライドしても電源ランプが点灯しない場合、充電残量がありません。付属のACアダプターやDCアダプターを接続して充電してください。
- 使用状態により異なりますが、満充電状態から約2時間使用できます。



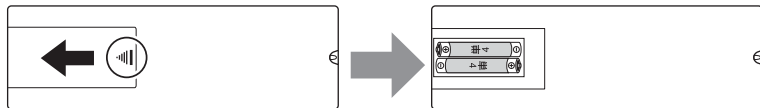
| 充電ランプ | |
|-----------|-----|
| 充電中 | 赤点灯 |
| 充電完了 | 消灯 |
| 充電残量残りわずか | 赤点滅 |

| 電源ランプ | |
|-------|-----|
| 電源オン | 青点灯 |
| 電源オフ | 消灯 |

- 電源がオフの場合 充電を開始してから約4時間で満充電となり、満充電状態から約2時間使用できます。
- 使用しながら充電できますが、電源がオフの場合より充電時間が長くなります。その際、本体及びアダプターの温度が多少高くなりますが、故障ではございません。
- 内蔵バッテリーは繰り返しの充放電により消耗しますが、交換はできません。

リモコンの準備

始めてリモコンを使う時は、下記を参考にして付属の電池を装着してください。



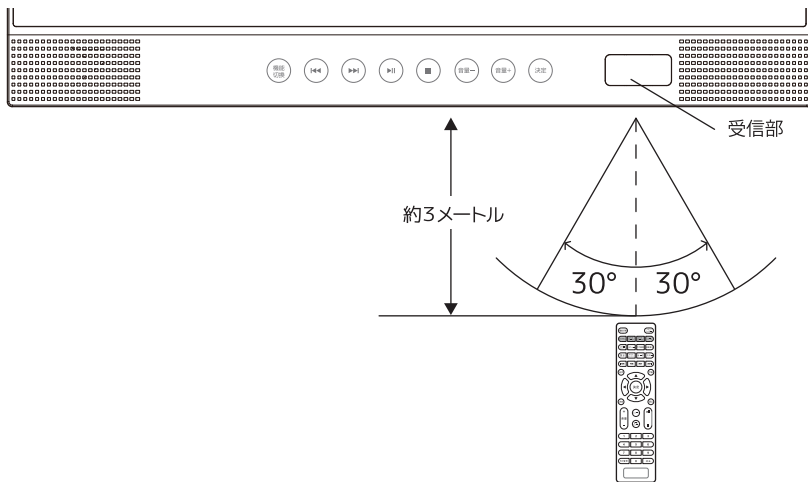
丸印部を押しながら、矢印方向へスライドしてふたを外します。

+, -の向きに注意して電池を入れます。その後、ふたを戻してください。

- 長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
- 付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

リモコンの操作

リモコンを使うときは、リモコン受信部から約3m以内の距離で、上下左右30度以内の範囲から操作をしてください。



- リモコンと受信部の間に、障害物がないようにしてください。
- 受信部に直射日光や強い光が当たっていると、リモコン操作ができなくなる場合があります。

メモリーカードの対応

以下のメモリーカードに対応しています。

- ・SDメモリーカード
- ・SDHCメモリーカード
- ・USBメモリー

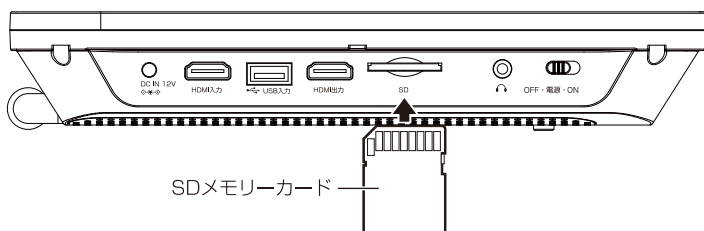
- すべてのメモリーカード、すべての容量の動作保証をするものではありません。
- miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、別途専用アダプタが必要になります。
- MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしていません。
- SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



SDスロットの使用

SD スロットを使用して SD メモリーカードから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

SDメモリーカードから再生する



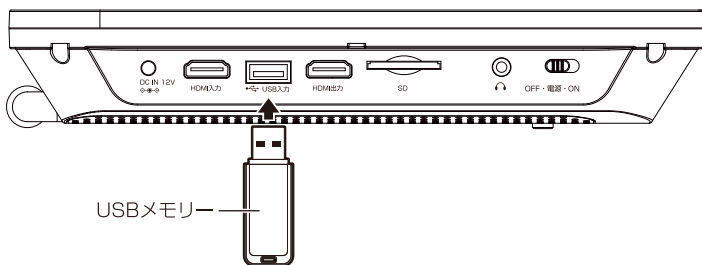
1. SDメモリーカードを差し込みます。
2. 「メディアセンター」 ボタンを押し、[SDカード1]を選択します。(P.39)

- SDメモリーカードは、読み込みをしてない時に取り外してください。
- 音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、「■」ボタンを押し、再生を停止させてからSDメモリーカードを取り外してください。

USBポートの使用

USBポートを使用して USBメモリーから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

USBメモリーから再生する



1. USBメモリーを差し込みます。
2. 「メディアセンター」ボタンを押し、[USB1]を選択します。(P.39)

- USBメモリーは、読み込みをしていない時に取り外してください。
- 音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、「■」ボタンを押し、再生を停止させてからUSBメモリーを取り外してください。
- 搭載されているUSBポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品やUSBメモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

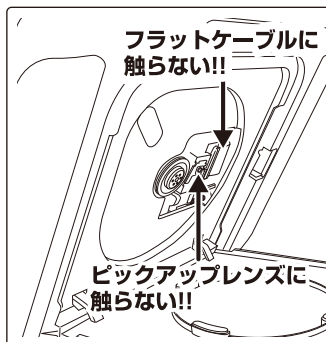
ディスクトレイカバーを開く



ディスクをセットする際は、を操作し、ディスクトレイカバーが自動的に開いた状態で行なってください。

自動的に開いた角度以上にディスクトレイカバーを開くと、故障したり、ディスクトレイカバーが破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ディスクトレイカバーは、50度以上開きません。



ピックアップレンズにより、ディスクに記録されたデータを読み取り、フラットケーブルにより、読み取ったデータをやり取りしていますので、ピックアップレンズやフラットケーブルには触れないでください。

ピックアップレンズやフラットケーブルに触れると、故障したり、破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ピックアップレンズにチリやホコリが付着した場合は、市販のレンズクリーナーを使用してください。

かんたん設定

設定初期化を行ったときに、本機の初期設定を行うためのかんたん設定が始まります。

かんたん設定を行う

Page:1/5

初期設定の案内画面です。「決定」を押して次へ進みます。

Page:2/5

表示言語の設定です。標準で「日本語」が選択されていますので、変更しない場合は「決定」を押して次へ進みます。

Page:3/5

画面解像度の設定です。標準で「1080P」が選択されていますので、変更せずに「決定」を押して次に進みます。

Page:4/5

画面縦横比の設定です。標準で「16:9フル」が選択されています。変更せずに「決定」を押して次へ進みます。

Page:5/5

設定完了の案内画面です。「決定」を押してください。初期設定が完了し、設定メニュー画面が表示されます。

設定メニューを閉じる

「設定」ボタンを押して、設定メニュー画面を閉じます。

以上で初期設定は完了です。ブルーレイディスクの鮮やかな映像をお楽しみください。

- 設定直後は音量が大きくなっています。音量にご注意ください。
- かんたん設定中に前の画面に戻るには、「◀◀」ボタンを押してください。
- 初期設定後も、設定メニューから「かんたん設定」を行うことができます。

機能の切り換え

各機能の切り換え方法を紹介します。

「機能切換」ボタンを押すと、ディスク再生「BD」、外部入力「HDMI IN」に切り換わります。

「BD」・・・ブルーレイディスク、DVDビデオディスク、CDなどを再生します。


「HDMI IN」・・・「HDMI入力」に接続した外部機器の映像を表示します。

再生（基本編）

ディスクの再生（基本操作）

ディスクを再生する


1. ディスクトレイカバーを開けます

本体背面の  を操作してディスクトレイカバーを開けます。

2. ディスクを入れます

再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がするまでしっかりとはめこみます。

3. ディスクトレイカバーを閉めます

開いたカバーの  をカチッと音がするまで下に押しすと、ディスクを自動的に再生します。

●DVDディスクやブルーレイディスクの高容量ディスクを再生した際に機械内部より機械動作音が大きく聞こえる場合がございますが故障ではありません。

図Aのメニューが表示された場合は、「◀」または「▶」ボタンで選択を行い、「決定」ボタンで決定してください。

①ディスクの最初から再生が開始されます。

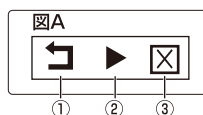
②停止した場所から再生が開始されます。

③メニューを閉じます。

※ディスクにより、停止した場所から正常に再生されない場合があります。

※ディスクの種類によっては、図Aのメニューは表示されません。（録画したディスクなど）

※再生途中で電源をOFFにした場合、図Aのメニューは表示されません。



再生を停止する

リモコンの「■」ボタンを押すと、再生が停止します。

リモコンの「■」ボタンを1度押した場合は、画面左上に■マークが表示され停止位置が記憶されます。ボタンを2度押した場合は停止位置が記憶されません。ディスクの先頭から再生が開始されます。

●ラストメモリー（レジューム）機能をオンにした場合は、P51の使用方法和条件をご参照ください。

ディスクを取り出す

本体背面の  を操作してディスクトレイカバーを開けます。

ディスクカバーが開いた事を検知すると自動でディスクの回転が数十秒後に止まります。回転が止まった事を確認してからディスクを取り出してください。

※ディスクの回転中は、ディスクに触れないでください。ケガ・故障の原因となります。

※ディスクを取り出す際に、ピックアップレンズ付近を触らないようご注意ください。

※取り出したディスクはケースなどに入れて保管を行ってください。

一時停止する

再生中にリモコンの「▶||」ボタンを1度押すと一時停止できます。

通常再生に戻るにはもう1度「▶||」ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの「■」ボタンを続けて2回押します。

画面左上に「■」表示が無い状態で、リモコンの「▶||」ボタンを押すとディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの「▶▶」 / 「◀◀」 ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。「▶▶」 / 「◀◀」 ボタンを押すごとに [1] [2] [3] [4] [5] 段階と再生速度を変更できます。通常再生に戻るには「▶|」 ボタンを押します。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの「◀◀」 / 「▶▶」 ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。「▶▶」 ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。「◀◀」 ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。

●ディスクによっては、ボタンを押してから動作するまで時間がかかる場合があります。

音量調整する

「音量 +/-」 ボタンを押すと音量調整できます。

■ご注意ください。

DVDビデオやブルーレイビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや他のモードにしたとき、音量が大きすぎる場合があります。

消音する

リモコンの「消音」 ボタンを押すと消音状態になります。消音状態を解除するには、もう 1 度「消音」 ボタンを押してください。

メニュー / タイトル画面を表示する

メニュー画面やタイトル画面が記録されているディスクでは、各画面からチャプターを選んで再生や、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの「メニュー」 ボタンを押すと、ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。(日本語の文字は正しく表示がされない場合もございます。)

「▲ / ▼ / ◀ / ▶」 ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

「決定」 ボタンを押すと選択した項目が表示されます。

再生（応用編）

ディスクの再生（応用操作）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声記録されているディスクは、音声の切り替えができます。

※例：ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの「音声」ボタンを押すごとに音声切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
- 1つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。

字幕を切り替える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。

また、複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクや、1つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの「サブメニュー」ボタンを押して、OSC(オンスクリーンコントロール)で切り替えます。(P.38)

- ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える場合があります。
- ディスクによっては、リモコンの「赤」/「黄」/「緑」/「青」ボタンを使用します。
- 1つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

ズーム再生する


ディスク再生中に、リモコンの「ズーム」ボタンを押すと、ズーム再生になります。ボタンを押す毎に [2×] [3×] [4×] [1/2] [1/3] [1/4] が選択でき、拡大再生中は「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示位置を移動できます。


●ディスクによってはズーム再生できない場合があります。


リピート再生する

「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの「リピート」ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

 **チャプター** . . . 現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。

 **タイトル** . . . 現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。

 **オール** . . . 全てを繰り返し再生します。

(非表示) . . . 通常再生に戻ります。

●ディスクによってはリピート再生できない場合があります。

●音楽 CD 再生時は「トラック」「オール」が使用できます。

再生（便利な再生機能編）

ディスクの再生（便利な操作）

ディスクの便利な再生機能を紹介します。

ディスク情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの「画面表示」ボタンを押すと下のように画面に表示されます。



もう1度「画面表示」ボタンを押すと非表示になります。

●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

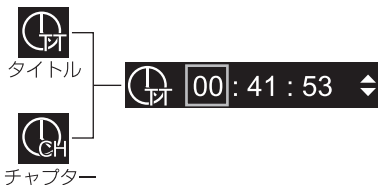
サーチ再生する

ご覧になりたい時間を指定して再生します。

再生中にリモコンの「サーチ」ボタンを押します。

ディスク情報画面が表示され、[経過時間]の項目にカーソルが移動します。

リモコンの「▲/▼」ボタンでタイトル/チャプターが選択できます。



リモコンの「決定」ボタンを押すと、下のように表示が切り替わり、数字キーで時間を入力できます。

リモコンの「◀/▶」ボタンで[時][分][秒]が移動できます。

入力した時間を消去するには「消去」ボタンを押してください。



時間を入力した後にリモコンの「決定」ボタンを押すと、指定した時間から再生されます。

●収録時間外の数字は入力できません。

プログラム再生する

タイトル / チャプターをプログラムリストに登録して再生します。

再生中にリモコンの「プログラム」ボタンを押すと、下のような画面が開きます。



■プログラムリストに登録する

リモコンの「決定」ボタンを押します。

右図のように表示が切り替わりますので、リモコンの「▲/▼」ボタンで数字を入力して「◀/▶」ボタンでタイトル / チャプターが選択できます。



リモコンの「決定」ボタンを押すと確定され、次項のリストへカーソルが移動します。

リモコンの「▶▶」ボタンを押すとプログラムリストに登録した順に再生されます。

- 最大15まで登録できます。
- ディスクによって正常に動作しない場合があります。
- 録画されたディスクは記録状態により異なりますので動作保証外となります。

ブックマーク機能を使用する

ブックマーク(しおり)を付けておくと、すぐにその場所に飛ぶことができます。

■ブックマーク位置を登録する

再生中に位置登録したい場面でリモコンの「ブックマーク1」ボタンを押します。
ボタンを押すごとに下のように表示され、最大12か所の登録ができます。



■ブックマーク位置を呼び出す

再生中にリモコンの「ブックマーク2」ボタンを押すと下のように表示されます。



再生中にリモコンの「▲/▼/◀/▶」ボタンで再生したブックマーク番号を選択し、「決定」ボタンを押すと再生します。

削除するには「消去」ボタンを押してください。

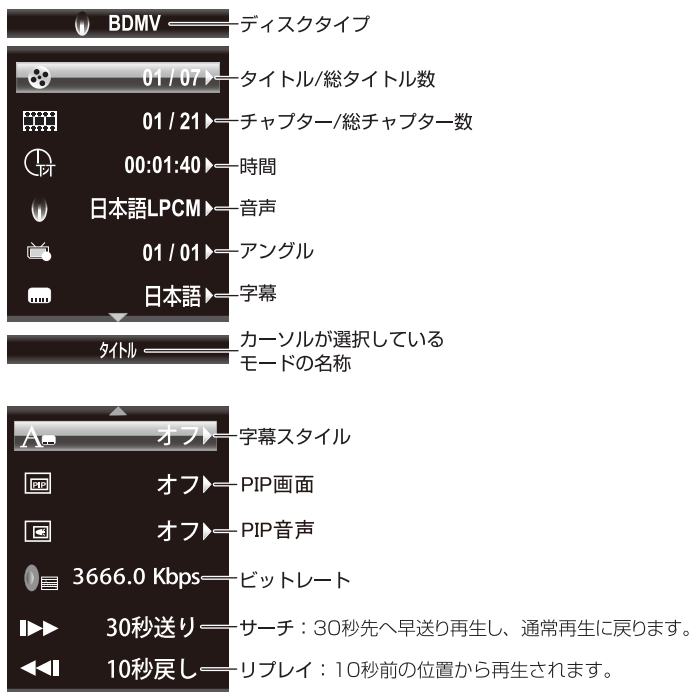
「ブックマーク1」ボタンを押すと非表示になります。

- ブックマーク画面を表示中、再生は停止されます。
- ブックマーク位置は再生を停止すると消去されます。
- ディスクによって正常に動作しない場合があります。
- 録画されたディスクは記録状態により異なりますので動作保証外となります。

OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する

再生中にリモコンの「サブメニュー」ボタンを押すと以下のように表示され、各機能が使用できます。

カーソルボタンで項目を移動し、「決定」ボタンで変更できます。



●ディスクに記録されていない項目は切り替えできません。

メディアセンター

メディアセンターの使用

動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルを再生するメディアセンターの操作方法を紹介します。

メディアセンターを開く

USBメモリー、SDメモリーカード、データディスク、を挿入して電源を入れます。

「機能切換」ボタンを押して、「BD」に切り換えます。

再生停止中にリモコンの「メディアセンター」ボタンを押すと、メディア選択画面が表示されますので再生したいメディアを選択してください。

※データディスクが挿入されたときは、ディスクを読み込みフォルダ表示画面になります。

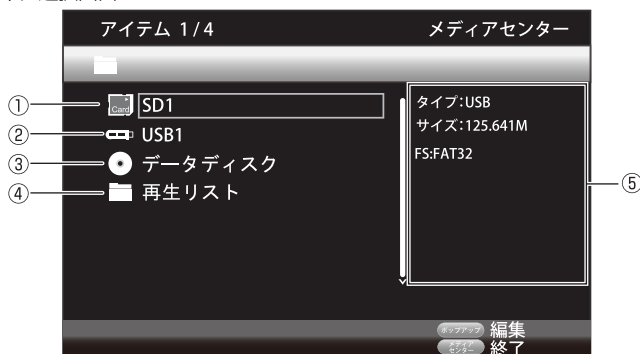
■操作方法

「決定」ボタン：項目やフォルダを確定して開きます。

「▲/▼」ボタン：項目やフォルダ、ファイルを選択します。

「◀」ボタン：1つ前のフォルダ階層に戻ります。

メディア選択画面



- ①：SDメモリーカードのデータを読み込みます。※
- ②：USBメモリーのデータを読み込みます。※
- ③：ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。※
- ④：プレイリスト登録されたファイルを表示します。
- ⑤：カーソルで選択されている項目の情報が表示されます。

※挿入されていないときは表示されません。

再生するファイルの種類を選択する

メディアを選択すると、フォルダ表示画面になります。



- ① : アイテム番号/総アイテム番号を表示します。
- ② : 現在のフォルダ階層を表示します。
- ③ : 1つ前の階層に戻ります。
- ④ : 写真ファイルを表示します。
- ⑤ : 音楽ファイルを表示します。
- ⑥ : 動画ファイルを表示します。
- ⑦ : AVCHDファイルを表示します。

- ④～⑦は USBメモリーや SDメモリーカードに記録されているフォルダではなく、ファイルの種類を分類するために本製品が自動表示しています。写真フォルダよりフォルダ階層に入ると、画像ファイル以外は表示されません。
- 対応する形式であっても、すべてのファイル、すべてのメモリーカードの動作保証をするものではありません。
- 日本語ファイル名は正常に表示されない場合があります。

※複数のファイルが存在する場合は、◀▶ ボタンで次や前のページへ表示切換させることができます。

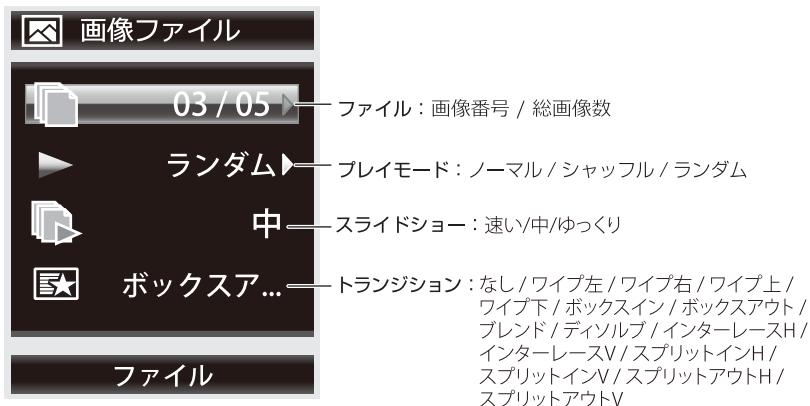
動画 / 音楽 / 写真ファイルを再生する

動画ファイル、音楽ファイル、写真ファイルを再生時の操作方法を紹介します。

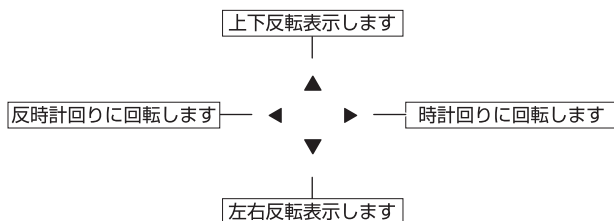
- 「▶▶」 : 再生します。
- 「■」 : 1回押すと再生を停止して、画面左上に「■」マークが表示され停止位置が記憶されます。
2回押すと停止位置情報が消去され、メディアセンター画面になります。
- 「▶||」 : 一時停止します。
- 「◀◀」 : 早戻し / 早送りスピードを調整します。
「▶▶」
- 「▶▶」 : 前後のファイルに移動します。
「◀◀」
- 「消音」 : 消音します。
- 「画面表示」 : 情報を表示します。
音楽ファイル再生画面の表示のオン / オフを切り替えます。
- 「リピート」 : シングルリピート / オールリピート / 通常再生が選択できます。
- 「サーチ」 : 時間指定してサーチ再生します。
- 「ズーム」 : 拡大表示して再生します。
- 「サブメニュー」 : OSC(オンスクリーンコントロール)機能が使用できます。
(表示内容は「OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する (P.38)」を参照してください)

画像ファイル再生時の操作

■ 画像ファイル再生時の OSC (オンスクリーンコントロール) 機能

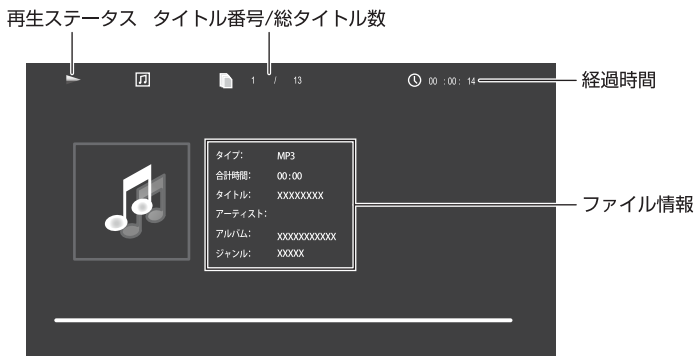


■ 画像ファイル再生中の「▲ / ▼ / ◀ / ▶」ボタンの動作



音楽ファイルを再生する

メディアセンター画面で音楽ファイルを選択して「▶||」ボタンを押すと、下のような音楽ファイル再生画面に切り替わります。



本体設定

設定メニュー

ディスク再生機能(BD)時の設定を変更します。

「設定」ボタンを押してセットアップメニュー画面を表示し

「◀/▶」ボタンで「基本設定」「映像設定」「音声設定」を選択します。

| 1 階層 | 2 階層 | 3 階層 | 4 階層 | 5 階層 | 解説 | |
|--|------------------------|------------------------------------|--------------------|-----------|---------|---|
| 基本設定  | システム | 自動再生 | ●オン オフ | | ① | |
| | | 設定初期化 | 操作確認 | | ② | |
| | | アップグレード | ディスク USB/SD | | ③ | |
| | | かんたん設定 | | | ④ | |
| | | BUDA <small>※本機では使用しません</small> | BUDA 情報 BUDA 設定 | | ⑤ | |
| | 言語設定 | 設定画面言語 | 英語 ●日本語 | | ⑥ | |
| | | メニュー | 各国言語 ●日本語 | | ⑦ | |
| | | 音声 | 各国言語 ●日本語 | | ⑧ | |
| | | 字幕 | 各国言語 ●日本語 オフ | | ⑨ | |
| | | 再生設定 | アングル | ●オン オフ | | ⑩ |
| | PIP画面 | | ●オン オフ | ⑪ | | |
| | PIP音声 | | ●オン オフ | | ⑫ | |
| | ラストメモリー | | ●オン オフ | | ⑬ | |
| | Audio Watermark Level3 | | ●オン オフ | | | |
| | 安全設定 | | パスワード変更 | | パスワード入力 | |
| | | 視聴制限 | パスワード入力 | オフ | | ⑮ |
| | | | | 子供向け | | |
| | | | | G | | |
| | | | | PG | | |
| | | | | PG13 | | |
| PGR | | | | | | |
| 右 | | | | | | |
| NC17 | | | | | | |
| ●無制限 | | | | | | |

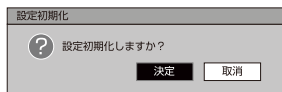
※●印は工場出荷値の設定になります。

※製品バージョンの違いにより設定内容が表と異なる場合がございます。

※ディスクの種類によって、設定機能が反映されない場合がございます。

※再生中は、一部の設定ができません。再生を完全に停止またはディスクやメモリーを取り外した状態で行ってください。

- ①：自動再生を設定します。
- ②：設定を工場出荷時へ戻します。
ディスクが入っていない状態で操作します。
◀ボタンを一度押し「決定」アイコンが黒地に白文字となった状態で「決定」ボタンを押してください。



- ③：※管理用となります。通常は使用しません。
- ④：初期設定を行うための「かんたん設定」を始めます。(P.29)
- ⑤：※本機では使用しません。
- ⑥：表示言語を設定します。
- ⑦：メニュー言語を設定します。
- ⑧：音声を設定します。
- ⑨：字幕言語を設定します。
- ⑩：アングルマークを設定します。
- ⑪：ピクチャーインピクチャー画面マークを設定します。
- ⑫：ピクチャーインピクチャー音声マークを設定します。
- ⑬：ラストメモリー機能を設定します。(ディスクによっては「オン」でも機能しない場合があります。)
- ⑭：パスワードを変更します。初期値は0000です。
- ⑮：視聴制限を設定します。パスワードの入力が必要です。

●⑬のラストメモリー機能オンにした場合

<操作方法>

ビデオディスクの再生中に「停止」ボタンを1回押しして停止させてください。ディスクカバーを開けディスクの回転が停止したことを確認してから電源をオフにします。再び電源をいれたときに前回停止した位置から再生されます。

<条件・注意>

※ラストメモリー(レジューム)機能は、DVD-Videoのみ有効です。録画されたディスクには対応していません。

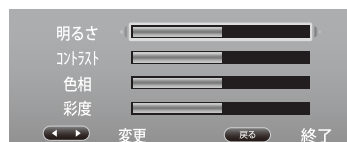
※ラストメモリー(レジューム)機能は、ディスクによって制限があり、正常に動作しないことがあります。

| 1 階層 | 2 階層 | 3 階層 | 4 階層 | 5 階層 | 解説 |
|--|-----------------|--|---------------|------|----|
| 映像設定  | 画面調整 | アスペクト比 | ●16:9フル | | ① |
| | | | 16:9ノーマル | | |
| | | | 4:3PS | | |
| | | | 4:3LB | | |
| | | 解像度 | 自動 | | ② |
| | | | 480i/576i | | |
| | | | 480p/576p | | |
| | | | 720p | | |
| | | | 1080i | | |
| | | 映像出力設定 <small>※PAL形式は動作保証外となります</small> | ●1080p | | ③ |
| | | | ●NTSC | | |
| | | | PAL マルチ | | |
| | 色空間 | ●RGB | ④ | | |
| | | YCbCr | | | |
| | | YCbCr422 | | | |
| | | フルRGB | | | |
| | HDMI Deep Color | 30bits | ⑤ | | |
| | | 36bits | | | |
| | | 48bits | | | |
| | HDMI 1080P 24Hz | ●オフ | ⑥ | | |
| | | オン | | | |
| 映像処理 | 映像調整 | 明るさ | -16 ~ 0 ~ +16 | ⑦ | |
| | | コントラスト | -16 ~ 0 ~ +16 | | |
| | | 色調 | -9 ~ 0 ~ +9 | | |
| | | 彩度 | -9 ~ 0 ~ +9 | | |
| | 鮮明度 | 高 | ⑧ | | |
| | | ●中 | | | |
| | | 低 | | | |
| | | | | | |


※●印は工場出荷値の設定になります。

- ①：映像の画面比率を設定します。
 ②：解像度を設定します。
 ③：映像出力の設定をします。
 ④：色空間を設定します。
 ⑤：HDMIディープカラーを設定します。
 ⑥：1920×1080/24P対応テレビとHDMI接続している場合に設定します。
 ⑦：画質を調整します。
 ⑧：映像の鮮明度を設定します。

■ [⑦画質調整]について



- 数値変更：「◀/▶」ボタン
 項目移動：「▲/▼」ボタン
 確定：「決定」ボタン
 戻る：「戻る」ボタン

| 1 階層 | 2 階層 | 3 階層 | 4 階層 | 5 階層 | 解説 |
|--|------|-----------|----------|------|----|
| 音声設定  | 音声出力 | HDMI | ビットストリーム | / | ① |
| | | | ●PCM | | |
| | | | オフ | | |
| | | ダウンサンプリング | ●48K | / | ② |
| | | | 96K | | |
| | | | 192K | | |
| | | DRC | オフ | / | ③ |
| | | | オン | | |
| | | | ●自動 | | |

※●印は工場出荷値の設定になります。

- ①：HDMI出力時の音声を設定します。（オフにすると、本体から音声は出ません。）
 ②：HDMI出力時のダウンサンプリング周波数の設定をします。
 ③：DRCの設定をします。


■[ビットストリーム] [PCM] について

ビットストリーム：オリジナルのビットストリーム音声信号を出力します。

PCM：すべての音声がリニアPCMに変換され音声出力されます。

■[DRC] について

音声のダイナミックレンジ(最大の音と最小の音との差)を圧縮し、小音量時でも音を聞き取りやすくします。
 (本機能はドルビー音声再生時のみ効果があります)

| 1 階層 | 2 階層 | 3 階層 | 4 階層 | 5 階層 | 解説 |
|---|------|------|------|------|----|
| システム情報  | / | | | | ① |

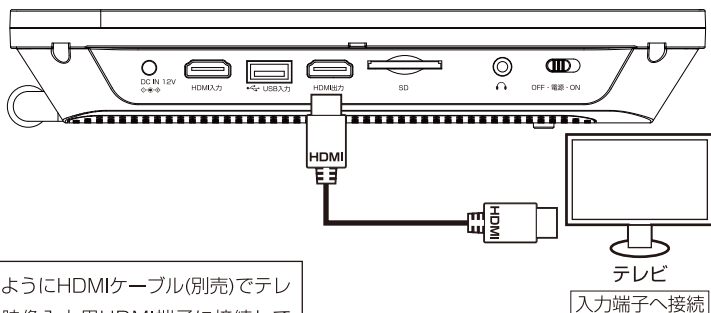
- ①：●ソフトウェアバージョンが表示されます。

外部端子接続

テレビに出力する

外部出力端子を使用してテレビに出力する方法を紹介します。

■HDMIケーブル(別売)で接続する



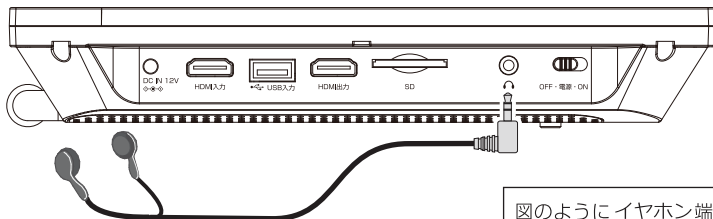
図のようにHDMIケーブル(別売)でテレビの映像入力用HDMI端子に接続してください。

- 接続する機器の仕様及び設定を必ず確認してから接続してください。
- 接続機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 音声出力は本機の音量操作に連動しています。接続機器の音量と本機の音量を調整ください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- 外部出力時、本体から音声は出ません。
- 外部出力時、本体の画面に再生画像は表示されません。
- 地上デジタル放送やワンセグ放送の映像を接続機器側に出力することはできません。

※すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

イヤホンを使用する

イヤホン端子を使用して、イヤホンで音声を聞くことができます。

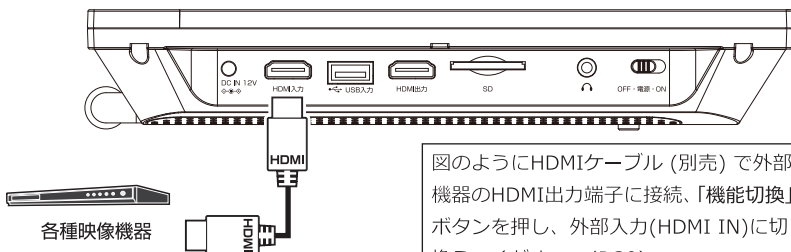


図のようにイヤホン端子に接続してください。

- 音量を最小にしてから接続してください。
- イヤホンを接続すると、本体から音声は出力されなくなります。

外部機器から入力する

HDMI入力端子を使用して、外部機器の映像と音声を入力することができます。



HDMI出力端子に接続

図のようにHDMIケーブル(別売)で外部機器のHDMI出力端子に接続、「機能切換」ボタンを押し、外部入力(HDMI IN)に切替えてください。(P.29)

- 接続機器側の設定が必要になります。接続機器の説明書をご確認ください。
- 本機の入力と接続機器の出力は、直接接続してください。切り替え器や分配器などを經由して接続すると映像が乱れたり映像が映らない場合があります。
- 音置を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- 外部機器から入力した音声は、本機の「音量+」「音量-」ボタンを押すことで5目盛りづつ粗調整が行えます。
 - ・音量調節は映像機器側で行なってください。
 - ・本機の消音ボタンは機能しません。

※すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

CD を録音する

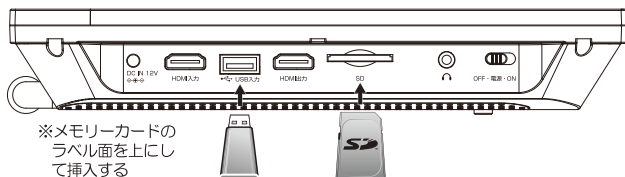


重要なデータは必ずバックアップ保存しておいてください。

- USBメモリーまたはSDカードに十分な空き容量があるか確認してください。
- 本機ではUSBメモリーまたはSDカードに記録されているデータを削除することはできません。
- 録音中、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- 本機で録音したものは、MP3で記録されます。
- 容量の大きいメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- 本機ではフォルダー名やファイル名の入力・変更はできません。
- 本機ではMP3ファイル形式のディスクからの録音はできません。市販の音楽CDのみとなります。

■ メディアを挿入する

録音するCDディスクと、記録するメディア（USBメモリー・SDカード）を本機にセットします。



※メモリーカードのラベル面を上にして挿入する

※USBメモリー、またはメモリーカードを挿入する際、ディスクふたは必ず閉めてください。

■ 録音する

セットしたCDディスクを再生し、リモコンの「字幕」ボタンを押すと、録音画面が表示されます。再生中でも「字幕」ボタンを押せば、曲の頭から録音できます。「▲▼◀▶」で、項目を移動します。

| CD RIP | | | |
|---------|----------------|--------------|-------------|
| オプション | | トラック | |
| ① | 速度：ノーマル | ✓ Progress01 | 04:32 |
| ② | ビットレート：128kbps | ✓ Progress02 | 04:23 |
| ③ | Create ID3：V1 | Progress03 | 03:52 |
| ④ | デバイス：USB1 | | |
| SUMMARY | | | |
| ⑤ | Select Track: | 2 | |
| ⑥ | Select Time: | 08:55 | |
| | 開始 | 取消 | ⑦ |
| | | 全選択 | Select None |

⑧ ⑨

- ① 録音スピード：「決定」ボタンを押すごとに録音スピードが切り換えられます。
(ノーマル ⇄ 速い)
※「速い」を選んだ場合、スピーカーから音声は流れません。
- ② ビットレート（圧縮率）：「決定」ボタンを押すごとに圧縮率が切り換えられます。
(64Kbps→96Kbps→128Kbps→192Kbps→256Kbps→320Kbps→Lossless)
この数値が大きいほど音質は良くなりますが、変換後のファイルサイズは大きくなります。
- ③ ID3作成：TAG式ファイルを作成します。
- ④ デバイス：録音先を表示します。(USBメモリーかSDカードを選択できます。)
- ⑤ 選んだ曲数を表示します。
- ⑥ 選んだ曲の再生時間の合計を表示します。
- ⑦ CDに収録されているトラックリストを表示します。録音したい曲にカーソルを合わせて「決定」ボタンを押すと、左に「✓」が表示されます。すべて選択するには「全選択」、すべての選択を取り消すには「Select None」にカーソルを合わせ、「決定」ボタンを押します。
- ⑧ 開始：録音したい曲を選択している場合に、録音を開始します。
- ⑨ 取消：録音画面を終了してCD再生画面に戻ります。

■ 録音開始

- ① 録音中のトラックナンバーを表示します。
- ② トラックごとの録音状況を表示します。
- ③ トータルでの録音状況を表示します。
- ④ 録音中に「決定」ボタンを押すと、録音を中止します。
- ⑤ 選択したトラックと、録音状況が表示されます。



録音されたファイルはUSBメモリー・SDカードの「ALBUM」フォルダーに保存されます。ファイル名は「TRACK01」「TRACK02」・・・というように順番に番号が増えるようにファイル名を割り当てられて、記録/保存されます。

※すでに途中まで録音されている曲は、本機が未登録部分を探して録音することができません。同じ曲でも再度録音する場合には、新しいファイルで保存されます。

- 録音が終わると、録音画面に戻ります。
終了するには、「取消」にカーソルを合わせ、「決定」ボタンを押してください。



- SDカードとUSBメモリーを同時に接続している場合、録音先をSDかUSBか選択してから録音してください。
- 録音中や録音画面表示中は振動を与えたり、SDカード/USBメモリーを抜かないでください。

トラブルシューティング

故障かな?と思ったら

製品本体

- 電源が入らない**
- 専用ACアダプターをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.24)
 - バッテリー切れになってないか確認してください。(P.24)
- リモコンがきかない**
- 電池の+、-の向きを確認してください。(P.25)
 - 電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.25)
 - リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.25)
 - リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
- すべての設定を初期設定に戻したい**
- セットアップメニュー画面の[基本設定]から[初期化]を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.44)

- 静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにするか電源をオフにしてから電源コードを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。また、設定初期化により復旧する場合もございます。お試しください。(P.44)

ディスク再生

- 再生できない**
- 本製品で再生できるディスクが確認してください。(P.15)
 - ディスクのリージョンコードを確認してください。(P.18)
 - ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
 - ディスクはラベル面を上正しくセットしてください。
 - ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。
 - 寒いところから急に暖かいところを持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1～2時間放置してください。(P.13)

| | |
|-------------------|---|
| 録画したディスクが再生できない | ● ディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。 |
| 映像が白黒になる | ● ディスクの映像タイプを確認してください。(P.16) |
| 映像が乱れる | ● ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13) ● サーチ再生中は多少乱れが出るがありますが、故障ではありません。 |
| 音声がでない | ● リモコンの音量レベルを確認してください。(P.31) ● 早送り / 早戻し再生中に音声は出ません。 ● 「音声」ボタンで切り替えてください。(P.32) ● HDMI出力時の音声設定を「オフ」にすると、本体から音声は出ません。「PCM」に切り替えてください。(P.47) |
| 字幕言語が切り替えられない | ● 字幕の入っていないディスクは切り替えできません。(P.32) ● 複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.32) ● 「字幕」ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.31) |
| 字幕が出ない | ● 字幕の入っていないディスクは切り替えできません。(P.17) ● 字幕が「オフ」になっている場合は、「字幕」ボタンで切り替えてください。(P.32) |
| 音声言語が切り替えられない | ● 複数の音声が入録されていないディスクでは切り替えできません。(P.17) ● 「音声」ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.32) |
| アングルを変えて見ることができない | ● 複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。 ● 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。 |

メディアセンター

| | |
|----------------------|--|
| 動画ファイルや音楽ファイルが再生できない | ● 対応形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になりますのでご了承ください。 |
|----------------------|--|

その他

仕様

| | |
|--------------|--|
| 型番 | TK14BD |
| 商品名 | 14インチ ポータブル ブルーレイ™プレーヤー |
| 電源 | AC 100 V 50/60Hz DC12V 2.0A |
| 本体サイズ | 約341 (W)×233 (D)×33 (H) mm |
| 画面 | 14インチTFT液晶 16:9 解像度1920×1080 |
| 映像信号方式 | NTSC |
| 製品重量 | 約1280g |
| 許容動作温度 | 5℃～35℃ |
| 対応ファイル形式 | MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4/H.264 MP3/AAC/JPEG/GIF/PNG <small>※DRM(デジタル著作権管理)ファイルには対応しておりません。 ※長時間録画/長時間モードで記録されたディスクは正常に再生できない場合があります。</small> |
| 消費電力 | 24W |
| 音声出力(スピーカー) | 2W×2 |
| 出力端子 | HDMI出力×1 3.5mmイヤホンジャック×1 |
| 入力端子 | HDMI入力×1 USBポート×1 SDカードスロット×1 電源入力端子×1 |
| SDスロット | SD、SDHCカード(最大32GBまで対応) |
| USBスロット | USBメモリー(USB2.0対応 最大32GBまで対応) |
| 対応BDプロファイル | 1.1(BONUSVIEW) |
| 対応ディスクタイプ | BD-ROM/BD-R(LTH対応)/BD-R DL/BD-RE/BD-RE DL/DVD-ROM/DVD±R/ DVD±R DL/DVD±RW/CD-ROM/CD-R/CD-RW |
| 対応ディスクフォーマット | BDMV/BDAV/AVCHD(1.0)/AVCREC/DVD-VIDEO/DVD-VR(CPRM対応)/ CD-DA/データDVD/データCD |
| 内蔵バッテリー | リチウムイオン電池 4000mAh |
| 充電時間 | 約4時間 |
| 最大再生時間 | 約2時間 |
| 付属品 | 取扱説明書兼保証書、ACアダプター、DCアダプター、 イヤホン、リモコン、単四乾電池×2(動作確認用) |

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告なく変更される場合があります。

- ・再生可能ディスク・対応メモリーカードは、すべてのディスク・メモリーカードやすべての容量に対し、動作保証をするものではありません。
- ・再生可能フォーマットはすべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- ・連続再生時間・充電時間は目安であり、使用条件やバッテリー状況などの影響で異なります。

各種ライセンスについて

DVD Logo is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.

The Blu-ray Disc™, Blu-ray™, BONUSVIEW™ word marks and logos are trademarks of the Blu-ray Disc Association.

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

Java and all other Java trademarks and logo are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

SDHC Logo is a trademark of SD-3C LLC.

Cinavia Notice

This product uses Cinavia technology to limit the use of unauthorized copies of some commercially-produced film and videos and their soundtracks. When a prohibited use of an unauthorized copy is detected, a message will be displayed and playback or copying will be interrupted.

If playback or copying is interrupted and one of the messages shown below is displayed, the content is an unauthorized copy protected by Cinavia technology.

| Message | Cinavia Message Code |
|----------------|----------------------|
| [Message(s) 1] | 1 |
| [Message(s) 2] | 2 |
| [Message(s) 3] | 3 |
| [Message(s) 4] | 4 |

More information about Cinavia technology is provided at the Cinavia Online Consumer Information Center at <http://www.cinavia.com>. To request additional information about Cinavia by mail, send a postcard with your mailing address to: Cinavia Consumer information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA.

IPR Message

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia™ is a Verance Corporation trademark. Protected by U.S. Patent 7,369,677 and worldwide patents issued and pending under license from Verance Corporation. All right reserved.



アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理(有料)をご依頼ください。

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日より1年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※弊社は出張修理サービス等を行っていません。

※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

「修理規定」に基づき修理を承っております。

「修理規定」の最新版は弊社ホームページでご確認いただけます。

高橋国際商事ホームページ

<https://www.takaworld.co.jp>

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切責任を負いません。

保証規定

- ・保証期間内の製品については、保証規定とあわせて「修理規定」も必ずお読みください。同意いただいたうえで、アフターサービスをご依頼ください。
- ・本規定は予告なく変更する場合がございます。本規定の最新版は、当社ホームページでご確認いただけます。なお、本規定は常に最新版を適用するものとします。
- ・延長保証など、当社保証とは別の保証を利用される場合は、修理品送付前に販売店にお問い合わせください。
- ・保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ・保証期間は使用開始時期・使用期間にかかわらず、保証書に記載の期間です。修理後も保証期間に変更はありません。
- ・保証期間内であっても、保証内修理適用判断については、当社権限にて実施させていただきます。全て無料保証修理をお約束するものではありません。

①ご購入日から保証期間内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店又は当社カスタマーセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理いたします。

②本製品をネットオークション、ネットフリーマーケット、転売品、中古品またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。

③本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。

④保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

当社によらない分解、改造（ソフトウェアを含む）、修理等が行われた痕跡がある場合。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送、強い衝撃等による故障または損傷。

※火災、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、虫害、鼠害、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、錆、カビ、たばこの煙等による汚れ、ゴミや埃などの異物混入、あるいは異常電圧などの外部要因による故障または損傷。

※一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用など）のご使用、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。

※保証書の提示がない場合。 購入日が確定できるレシート、納品書、販売店からの発送メール等が無い場合。

※保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

※付属品（リモコン、アダプター等）と消耗品（バッテリー等）の交換。

※液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良・修理・返品制度の対象外となります。

⑤サポート及び保証書は日本国内にのみ有効です。Effective only in Japan.

製品保証書

| | | | |
|---|----------------------------|------|--------|
| 品名 | 14インチ ポータブル ブルーレイ™プレーヤー | 型番 | TK14BD |
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 保証期間 | 1年間 |
| お客様 | お名前 | | |
| | ご住所 | | |
| 販売店 記入欄（記入のない場合は保証の対象となりません） ※ただし購入日を確定できる書類（レシート、納品書、販売店からの発送メール等）がある場合は保証の対象となります。 販売店名・住所・電話番号 | | | |
| <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; display: inline-block; text-align: center; vertical-align: middle;">印</div> | | | |

※本製品のサポートは日本国内限定となります。

※製品をお送り頂きます場合は必ず弊社カスタマーセンターへご連絡後にお願いします。

発売元：株式会社 高橋国際商事

〒273-0005 千葉県船橋市本町5-12-20

カスタマーセンター

047-409-9832

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝祭日および弊社指定休日を除く）